

130名が熱心に受講

新人札・契約制度講習会



熱気あふれた講習会場



松崎会長

講習に先立って、冒頭、松崎会長があいさつ、「一般競争入札や公募型意向確認方式など、入札執行時の我々業界における戸惑いは未だ大きい。特に経常JVへの関心が務めて戴きたい」と述べた。

自社内浸透を図る

本協会が主催する「新しい入札・契約制度講習会」が七月二十六日、福島市の杉妻会館において開かれ、関係者約百三十人が参加した。この講習会では、県土木部監理課の松崎高明主任主査兼建設業係長ら二人が講師を務め、新しい入札制度、経常JVについて説明を受けると共に質疑応答を行った。

経常JVがメインで

松崎主任主査らを講師に

四億三千万円未満の建設工事で公募、希望者から工事期間

を短縮する方法などの施工上の技術提案等を求め評価して指名する)についての現状を交えて説明した。

一般競争入札においては前記のように資格要件箇所を、公募型指名競争入札ではその技術提案部分の明確化(繰り返し検討されてきた分析結果を踏まえた上で使い勝手の悪い部分の修正を実施してきたことを説明)を、中でも平成五年十月から土木部と農林水産部で行われてきた技術評価型意向確認方式については、現場運用のポイントにおいて未だ効果的な引き出しには至っていない部分があることを否めないとした上で、電気・暖冷房衛生設備工事における対象金額(五千万円以上十五億円未満)では本協会などでも引き上げ要求していたものの、現時点での設定価格に当分の間は変動がないことを繰返し述べた。



佐藤主査

松崎係長

技術水準の向上及び責任施工の確立などを目的とした平成七年度優良建設工事の電気設備部門において松川浦漁港漁港環境整備工事を施工した相馬市の旭電設工業(株)(八巻正隆社長)が選ばれた。

表彰式は七月十三日、福島市のサンルートプラザ福島において行われ、今回受賞の榮譽に輝いた三十四社(一社が辞退したため)と県の佐藤栄久知事、志摩茂嘉土木部長や黒澤清農林水産部長、両部

旭電設工業が受賞

松川浦漁港環境整備で



表彰状を受ける八巻社長

本年度県の優良工事

の各課長さらには鈴木武男県議会議長らによる建設関係団体の代表らが多数出席した。表彰式は、森田農林検査課長の進行する中、まず佐藤知事が、「日頃からの技術の研鑽や施工管理等に対する皆さんの努力に敬意と感謝の意を表しますと共に、新しい生活圏・うつくしまづくしまの実現に向け、今後もその優秀な建設技術と深い経験を生かし、県勢発展にご尽力ください」と祝辞した。

関係者44人が参加

土木工事共通仕様書説明会



440人の参加をみた県北 方部の共通仕様書説明会

県では共通仕様書の改正に伴い、七月十一日から説明会を実施していたが、県内業者を対象とした説明会では最終回となる十九日に、県北地方の企業を対象とした説明会が福島市の県文化センターで行われ、およそ四百四十人が参加した。

説明会ではまず、県北建設事務所代理で石幡知次次長が「建設業は我が国の就労者の一割を占める裾野の広い業種であり、これを健全に発展させることはゆとりある国民生活に重要なこと」と述べたのちに続いて、県土木部土木検査課の橋本忠助課長補佐が今年度の事業概要や年々増加する災害防止を呼びかけると共に、「二期を期して歩掛り、積算や今回のような共通仕様書の改正は、新しい目で建設産にもかかわらず地域住民や専門家を直視していかなければならないことを示している。時の流れを認識して聞いていただきたい」と述べた。

次に説明会に移り共通仕様書(土木工事編I、II)改正の工事実績データ登録(コリンズ)の改正③建築副産物④過積載の防止⑤などの説明がなされ、休憩をはさんで午後からは①共通仕様書(業務委託編)改正②業務実績データ登録(テクリス)③実施図面の統一化の歩掛りコードの改正④などの説明がなされ、参加者はメモを取りながら熱心に聞き入っていた。

電 設 新 聞

発行所
社団法人 福島県電設業協会
社団法人 松崎
郵便番号 960
福島市松浪町9-6
(福島県電設業協会館)
電話 (0245)33-6226
編集印刷 南福島タイムズ社
福島市御山字井戸上64-5

岡田電気産業株式会社

本社 いわき市平谷川瀬字明治町二七
営業所 白河(〇三四六) 郡山(〇一六一) 会津
原町・相馬・福島東・福島・いわき南
勿来・他県外十二ヶ所

電気設備
住宅設備機器
コーディネーター OKADA

県試行中を強調

特定JVは2社程度

なお、佐藤主任主査が県建設工事に係る共同企業体取扱要綱のうち第十四条(二十一)条となる経常建設共同企業体について説明し、等級別格付区分がなされている工事種別では格付けされた等級に対応する設計金額や当該共同企業体の各構成員が格付けされた等級のうち上位等級に対応する設計金額のものとすることや構成員数は継続的な協業関係を確保して円滑な共同施工に支障がないようにする二社ないし三社とする(場合によっては五社も可能)ことなど懇切丁寧に説明した。

県としては試行錯誤の中であり、借りおきされている制度であることもあって現況が必ずしも絶対ではないことを何度も繰返し述べていた。

National 松下電工

盤革命。

ニュートラルスイッチは JIS協約形の 1Pブレーカと一体化

これにより大幅な省施工を実現。

- 1.VVFケーブルの脱着がわずかで済み、結線時間を約25%も短縮(当社比)。
- ケーブル産材が約1/6に減少(当社比)。掃除がらくて、資源のムダ使いも低減。
- 結線時に面倒なブレーカとニュートラルスイッチの番号合わせがまったく不要。
- 保守点検時の回路確認もスピーディ。
- ニュートラルスイッチは、コンパクトから、すず小型・軽量化も達成。タテ寸法で最大300mmコンパクト(100A、40回路の場合)。

さらに漏電保護付・漏電表示付は1Pサイズに100V。

省施工新標準 NSIブレーカ アロ一盤

ニュートラルスイッチが、ここから消える。だから、ここでの結線がなくなって省施工。

●商品のお問い合わせ・カタログのご請求は、〒963 福島県郡山市朝日2-5-15 松下電工・福島営業所 TEL(0249)39-7731 FAX(0249)39-4777

支部だより

福島支部

強いリーダーシップを望む

支部の定例会が、去る七月十日に行われ、総会以来はじめて本部より会長および副会長に正式参加を頂きました。席上、意見交換が行われて

本部の動きを詳しく説明され、新会長の方針も具体的に支部に話されてとても有意義だったと思われまます。是非これからも時間を取って頂いて出席をお願いしたいと思います。

白河支部

県南建設事務所職員招いての勉強会行う

各地で、夏祭りが盛んに行われていますが、先月、連立村山政権になっての初めての国政参議院選挙が行われ、史上最低の投票率に終わり、現在の景気に象徴されるような展開であったと思われまます。

施工管理技士会も設立一年が過ぎ、先月総会を開いて終了後は技士会会員や各店代表と合同で、県南建設事務所

次長様はじめ、設備担当者講師に招いて勉強会を開催致しました。

その他には、毎年行っておも夏期休業期間事故対応

を頂きました。そのPL法のた。次に、上原講師からは既設

わなければならぬものが三つあり、まず一つは債務不履行責任と契約の趣旨に

合わない販売など注文した商品と違うものを販売したり、修理したのに直っていない場

合、二つめは瑕疵担保責任で、不都合があった場合、三つめは不法行為責任で、手抜き工

事などで事故が生じた場合など、お世話になり、ありがとうございます。

最後に、野田講師が既存分の電盤の解体はそのままにして、内器のみをリニューアルすると簡単な施工例をあげて説明していただきました。

松浦講師よりリニューアルの種類とPL法の説明を頂きました。

お借りしまして、支部会員約三十五名(そのうち女性二名の参加を得て)でリニューアル講習会を行いました。

講師として、松下電工(株)から松浦講師や上原講師、野田講師が来られました。

まず、松浦講師よりリニューアルの種類とPL法の説明を頂きました。

お借りしまして、支部会員約三十五名(そのうち女性二名の参加を得て)でリニューアル講習会を行いました。



会員35名が出席した

いわき支部

夏期防災運動等を積極的に協力

長期に渡った梅雨もやっと明け、当いわき地区も毎日暑い本格的な夏が到来しました。当いわき地区の海水浴場も毎日大変な賑わいを見せて

おります。

今我々電気工事業界においては、まさに不況のどん底の状態にあり、この状態下では

景気が回復する刺激的な材料もありませんので、とても氷

相馬、双葉地方にまたがる

を持って連綿と続けられた。

野馬追いは表向きは妙見の祭りとして実は馬の育成と伊達藩に備える武術を磨く狙い

を持っています。

鹿島町の鳥崎海岸に馬を持ち込み訓練に励む。

相馬中村藩は強國・伊達藩と境を接する。

この体力づくりと馬術の鍛練のため、出場者は早春から

鹿島町の鳥崎海岸に馬を持ち込み訓練に励む。

相馬中村藩は強國・伊達藩と境を接する。

相双支部

フィールドオブドリーム・相馬

野馬追いは表向きは妙見の祭りとして実は馬の育成と伊達藩に備える武術を磨く狙い

を持っています。

鹿島町の鳥崎海岸に馬を持ち込み訓練に励む。

相馬中村藩は強國・伊達藩と境を接する。

この体力づくりと馬術の鍛練のため、出場者は早春から

鹿島町の鳥崎海岸に馬を持ち込み訓練に励む。

相馬中村藩は強國・伊達藩と境を接する。

この体力づくりと馬術の鍛練のため、出場者は早春から

鹿島町の鳥崎海岸に馬を持ち込み訓練に励む。

会津支部

萩生田新支部長が優勝飾る

米処、会津地方の今年の夏は長雨が続き、稲の発育が心配される今日このごろ。そんな雨の中、会津支部恒例の夏のレクリエーションが先日七月二十一日に行われました。

ちなみに、去年はボリン大会でしたが、今年は雨の中ゴルフ大会となりました。

支部会の後、納涼会へとい

なりました。

会津支部は、桜井支部長の頃からではないかと思えます

が、夏の納涼会において還暦会津電気佐藤氏からルール古希を祝うのが恒例になり、

説明があった後、いよいよ

今年も菊地電気工事(株)の小野常造氏が古希にあたり、会員

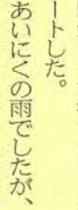
あいにくの雨でしたが、参

加者は十三人、みんな上下の

でまだまだ健在、益々の御清

責任分界点・工場構内分岐点の区分開閉器に!

過電流ロック形 高圧気中負荷開閉器 7200V 100・200・300・400A KLT-L形



株式会社 戸上電機製作所 仙台営業所 千980 仙台市中央1丁目2-3第一ビル ☎022(261)2261 Fax022-261-2263

電気技術総合コンサルタント!!

自家用電気施設のことは、お気軽に、ご相談下さい。 社団法人

東北電気管理技術者協会

- 福島県支部 いわき市勿来町開田和久2-1 ☎(0246)64-8694
 - 福島電気管理センター 福島市笹谷字桜水37-4 ☎(0245)57-5877
 - いわき電気管理センター いわき市平赤井字比良2-20 ☎(0246)21-5516
 - 若松電気管理センター 会津若松市居合町7-30 ☎(0242)22-4062
 - 原町電気管理センター 原町市牛越字下川原68 ☎(0244)22-2297
 - 郡山電気管理センター 郡山市津瀬町河内申久保55 ☎(0249)57-3080
- 事業本部：仙台市青葉区花京院二丁目11-11プレジール仙台ビル ☎(022)61-6015

配分電盤専門メーカー

営業品目

屋内外キュービクル・高低圧配電盤 各種自動制御盤・各種分電盤

株式会社福陽電機製作所

福島市天神町10番41号

TEL0245-34-1528 FAX0245-33-8590

照明器具・配線器具・開閉器・換気扇・配電機器 電線・電線管及び付属品・電設資材全般卸

地域と共に歩む

東北東芝電材株式会社

- 福島営業所 ☎(0245)53-4165
- 相馬営業所 ☎(0244)36-8901
- 郡山営業所 ☎(0249)34-3065
- 須賀川営業所 ☎(0248)72-7260



配電盤 制御システムメーカー

古川電気工業株式会社

郡山支店

支店長松田貴充

福島県郡山市若葉町11-23 ☎(0249)34-0859

FAX(0249)34-0861

本社：仙台市青葉区二日町6-12
仙台工場：仙台市宮城野区扇町2-1-10
支店・営業所：仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤



株式会社山形電機製作所

福島営業所 所長 高橋実

福島市大森字宮ノ前55-14 千960-11

TEL(0245)46-1321 FAX(0245)46-1322

支店・営業所：東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島 工場/山形・北海道千歳